

12月11日

テーマ：「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣く」

せいしょくしょ
聖書箇所：ローマ人への手紙12章15節

◆今日のみことば

喜ぶ者と一しょに喜び、泣く者と一しょに泣きなさい。
ローマ人への手紙12章15節

◆メッセージ

結婚式のお祝いなどでよく聞く言葉があります。「結婚は、悲しみは半分に、喜びは二倍になることです。」辛いことがあっても、二人で力を合わせて助け合って行けば、半分ずつになります。逆に、嬉しいことがあれば、二人で一緒に喜んで幸せを感じていけば、二倍どころか何倍にも大きくなるからです。

私たちが、何か嫌なことがあって気持ちが暗くなった時、誰もそばに居なかつたら寂しいでしょう。でも、誰かがそばに居てくれて「大丈夫だよ」って言うてくれたら、なんだか心がホッとして気持ちも明るくなってきます。反対に、何かいいことがあって思わず声を上げたくなった時、やっぱり誰もそばに居なかつたらつまらないでしょう。でも、誰かがそばに居てくれて「よかったね」と言うてくれたら、一緒に感動して踊り出したいくなるものです。



イエスさまも、「何事でも、自分にしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい。」と言われました。人が嫌がることをしないのは当然です。でも、自分がしてほしいと思うことだから、他の人にもそうしてあげようと思うのは、その人に対する積極的な愛がなければできません。この愛は、どこにあるのでしょうか。それは、イエスさまのところですよ。

私たちが、この愛をイエスさまからいただいて、周りの人と一緒に喜び、一緒に泣く人にならなすように。

◆お祈り

「私たちが、イエスさまから愛をいただいて、周りの人と一緒に喜び、一緒に泣ける人になれますように。」

(箕面めぐみ聖書教会牧師 山下 亘)